



人類と自然の共存をめざして

国立科学博物館は今、「生き物たちが暮らす地球の環境を守り、自然と人類が共存可能な未来を築くために、どうすればよいか」、みなさまと一緒に考えていきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示や施設、サービスを一部休止している場合があります。最新の情報は総合案内かホームページにてご確認ください。

地球館 地球生命史と人類

地球の多様な生き物がお互いに深く関わりあって生きている姿、地球環境の変動の中で生命が誕生と絶滅を繰り返しながら進化してきた道のり、そして、人類の知恵の歴史を展示しています。



1F

地球史ナビゲーター

宇宙史・生命史・人間史の壮大な物語をテーマとした、標本・資料と映像でたどる138億年を一望する時間の旅。地球館の展示室全体を繋げるシンボルゾーンとなります。



2F

科学技術で地球を探る

光や磁気などに関する物理学分野を、多数の体験型展示を通して直感的に体感できるよう工夫し、さらに地球物理学的な知識を、磁場など身近な現象を入口に紹介します。



3F

親と子のたんけんひろば コンパス

「遊び」の中から生まれるコミュニケーションを促し、感じる力、考える力を養うことを目的として、お子様とその保護者の方を主な対象に設計された展示室です。開室状況等をご確認のうえ、ご利用ください。



1F

地球の多様な生き物たち

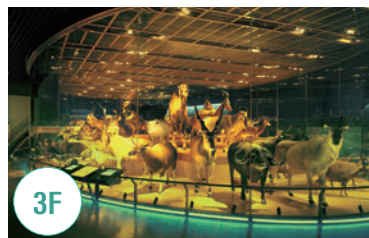
多くの種に分かれて進化してきた生物たちが、さまざまな環境に適応し、独自の形態や生活様式を持ちながらお互いに深くかかわりあって生きている姿を紹介します。



2F

科学と技術の歩み

江戸時代以降の科学技術が、日本固有の文化に根ざしつつ、外国の文化を受け入れながら発展してきた歩みを紹介します。



3F

大地を駆ける生命

地球環境の豊かさの証として、さまざまな哺乳類と鳥類の存在があります。力強く生きていたときの彼らの姿が、今もその魅力をたたえています。



B1F

地球環境の変動と生物の進化 —恐竜の謎を探る—

現代の爬虫類と鳥類は全く異なる生き物ですが、恐竜の研究を通してその進化の連続性が次々と明らかになってきました。恐竜の起源、大型化、多様化、絶滅とその謎はつきません。もの言わぬ化石から、私たちはどれだけ多くの証言を聞き出すことができるのでしょうか。



B2F

地球環境の変動と生物の進化 —誕生と絶滅の不思議—

およそ40億年前に誕生した生命は、大きく変動する地球環境の中で誕生と絶滅を繰り返して進化を遂げてきました。恐竜の絶滅後に大発展した哺乳類の中から人類が生まれ、世界中にひろがりました。その進化の道のりをたどります。



B3F

自然のしくみを探る

広大な宇宙や神秘的な生命、それを構成する物質と、これらを支配する法則—それらを知ることは、すべての科学的認識の基礎といえるでしょう。私たちの視野を広げ、自然についての理解を変えてきた探究の成果と、それに貢献した人々を紹介します。

日本館 日本列島の自然と私たち

日本列島の自然と生い立ち、そこに暮らす生き物たちの進化、日本人の形成過程、そして私たちと自然のかかわりの歴史を展示しています。



1F

自然をみる技

移り変わる季節と多様な自然の中で培われた細やかな観察眼と、日々の生活の中で育まれたものづくりに対する獨創性。自然をみる技を通じて、日本人の科学と技術に関わる活動の跡をたどります。



2F

生き物たちの日本列島

約170万年前から続く氷期と間氷期の繰り返しの中で、大陸から日本列島に移り住んだ生き物たちが、日本列島の複雑な自然環境に適応しつつ独自の分化を遂げた様子を紹介します。



3F

日本列島の素顔

四季の変化に恵まれ、季節風と海流の影響を強く受ける日本列島。ここでは地殻変動と火山活動も活発です。その複雑な自然環境は、多様な生き物たちを育ててきました。日本列島の豊かな自然の姿を紹介します。



1F

企画展示室

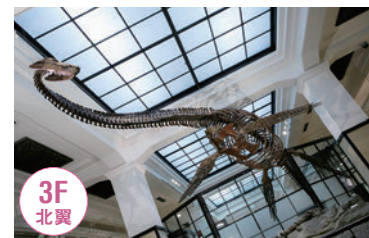
季節毎に様々な企画展示やイベントを開催します。



2F

日本人と自然

約4万年前、私たちの祖先は、森と海の恵みにあふれた日本列島を見いだしました。この豊かな自然の中で今日の日本人が形成された過程と、自然とのかかわりの歴史を紹介します。



3F

日本列島の生い立ち

数多くの生き物たちが繁栄と絶滅を繰り返してきた日本列島。地層に刻み込まれた生き物たちの痕跡は、この列島が成立するまでのダイナミックな変動の歴史を物語ってくれます。



B1F

シアター 360

360度全方位に映像が映し出され、独特の浮遊感や迫力が味わえる映像施設です。当館オリジナルのプログラムをご覧ください。



B1F

フーコーの振り子

この展示では、振り子の揺れる方向が変わっていき様子を観察できます。物理学者フーコーはこの振り子で地球の自転を証明しました。



中央ホール

日本館建物

日本館は、昭和3（1928）年4月に着工し、昭和6（1931）年9月に竣工。文部省大臣官房建築課の設計によるネオルネサンス様式を基調とした建物で、当時の科学技術の象徴であった飛行機型のデザインとなっています。※国指定重要文化財

利用案内

開館時間

9:00～17:00(入館は16:30まで)
金・土曜日9:00～20:00(入館は19:30まで)
※諸事情により開館時間が変わることがあります。

休館日

毎週月曜日(日・月曜日が祝日・休日の場合は火曜日)
年末年始(12月28日～1月1日)、くん蒸期間(6月下旬頃)
※諸事情により休館日が変わることがあります。

入館料

区分	入館料	備考
普通入館料	一般・大学生	630円
	小・中・高校生	無料
団体入館料	一般・大学生	510円 団体は20名以上
夜間天体観望	一般・大学生	320円 第1・3金曜日 晴天の日暮れから約2時間 ※WEBによる事前申込制
	小・中・高校生	無料

※18才未満の方および65才以上の方、障害のある方および付き添いの方1名は常設展が無料となります。
※特別展、特別企画展は別料金になります。

お問合せ

ハローダイヤル 050-5541-8600



交通のご案内

- JR「上野駅」公園口から徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分
- 京成電鉄「上野駅」から徒歩10分

(当館には駐車場はありませんので、車での来館はご遠慮ください。)



<https://www.kahaku.go.jp>

住所：〒110-8718東京都台東区上野公園7-20



2022.3

賛助会員募集中!

国立科学博物館の活動(青少年の自然科学等への興味・関心の向上に関する事業、地域博物館等と連携したイベント、標本資料の製作、購入、保存、修復等の事業)を支援する「賛助会員」を募集しています。特典、会費及びお申込み方法については、賛助会員担当までお問い合わせください。(TEL03-3822-0111 月～金曜日9:00～17:00)



友の会会員・リピーターズパス みどりのパス募集中!

国立科学博物館との結びつきを深め、自然科学をより楽しんでいただくための会です。特典、会費及び入会のお申し込み方法等は、日本館B1 階友の会カウンターにお問い合わせください。(TEL03-5814-9859・開館時間中、休館日除く)



附属施設



附属自然教育園

武蔵野の面影をしのぶ自然が残っています。
※天然記念物および史跡

開園時間

9月1日～4月30日
9:00～16:30(入園は16:00まで)
【夜間天体観望】
第2土曜日、晴天の日暮れから約2時間
電話での事前申込制

入園料

一般・大学生 320円、小・中・高校生 無料
団体(20名以上) 250円

夜間天体観望

一般・大学生 320円、小・中・高校生 無料

休園日

毎週月曜日(祝日・休日の場合は開園)
祝日・休日の翌日
(土曜・日曜の場合は開園)

年末年始(12月28日～1月4日)

お問合せ

〒108-0071 東京都港区白金台5-21-5

TEL 03-3441-7176(代表)



筑波研究施設

自然史や理工学に関する研究、研修活動を行っています。

※オープンラボ等のイベントの際のみ一般公開しています。

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1

TEL 029-853-8901(代表)



筑波実験植物園

多様な植生を再現しています。天体観望施設などもあります。

開園時間

9:00～16:30(入園は16:00まで)
【夜間天体観望】
第2土曜日、晴天の日暮れから約2時間
電話での事前申込制

入園料

一般・大学生 320円、小・中・高校生 無料
団体(20名以上) 250円

夜間天体観望

一般・大学生 320円、小・中・高校生 無料

休園日

毎週月曜日(祝日・休日の場合は開園)
祝日・休日の翌日
(土曜・日曜の場合は開園)

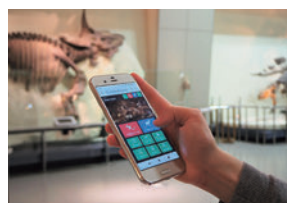
年末年始(12月28日～1月4日)

お問合せ

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1

TEL 029-851-5159(代表)

展示の楽しみ方



かはくHANDY GUIDE

【無料】

お客様のスマートフォンなどのモバイル端末を用いて、展示室内で解説などをご覧いただけます。
日本語・英語・中国語・韓国語 対応



かはくナビ

かはくナビ・音声ガイド

【有料:320円(障害者の方は無料)】

館内各所の展示について、研究者による解説が楽しめます。
日本語(大人版・子ども版)・英語・中国語・韓国語 対応



キオスク(展示情報端末)

館内各所のタッチパネルで展示の詳しい解説や動画が楽しめます。
日本語・英語・中国語・韓国語対応

国立科学博物館 公式SNS



ご注意ください

●館内での撮影について

・撮影者本人が個人的に使用する場合に限り原則として自由ですが、他のお客様のご迷惑にならないように、また他の権利者の権利を侵害しないよう、ご協力をお願いいたします。

・以下の場合、撮影できません

- 1.撮影禁止の表示のあるもの
- 2.館内で上映されている動画
- 3.シアター 360の中

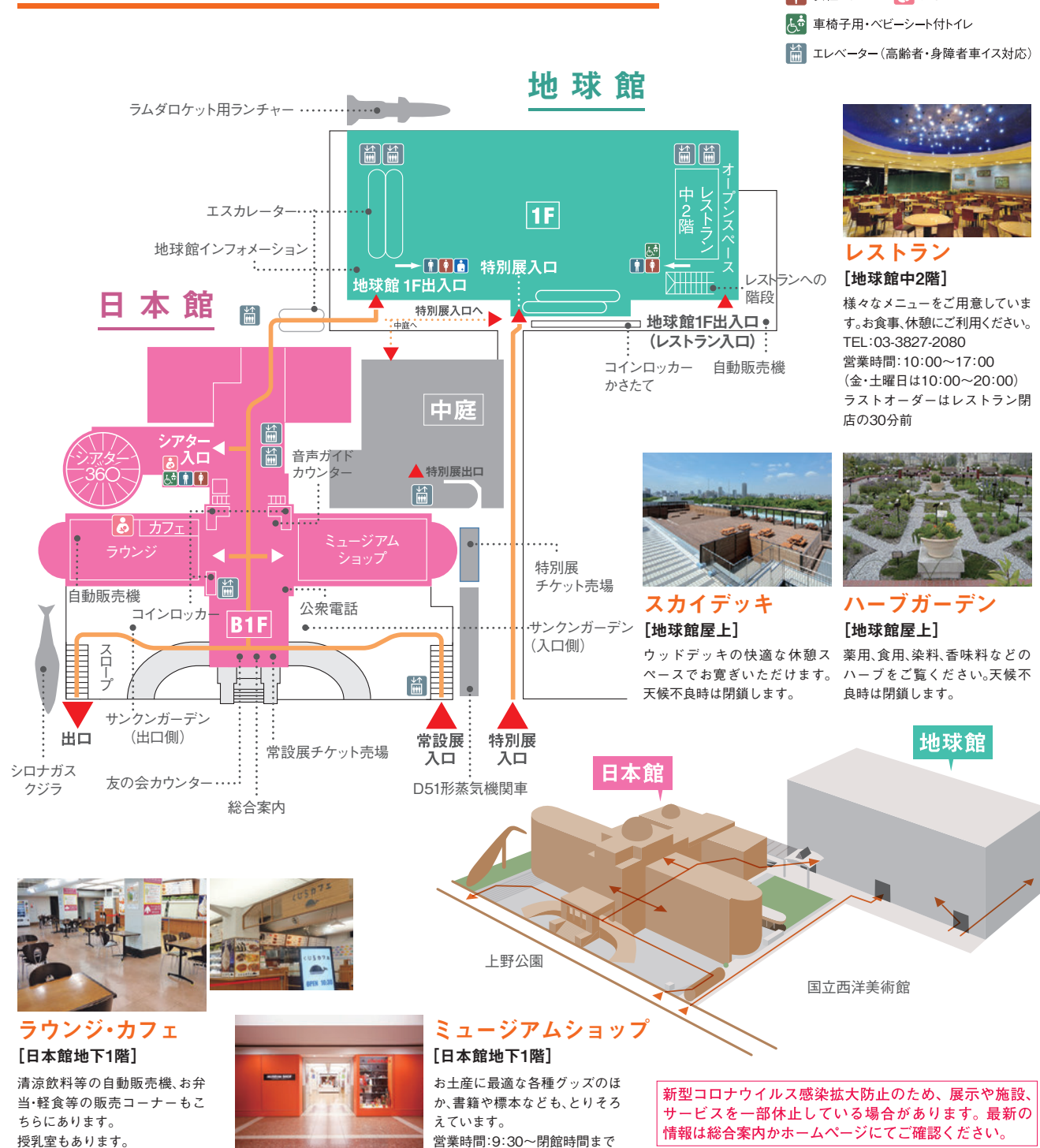
・館内での一脚・三脚・自撮り棒の使用、フラッシュ等の光を発するもの、追加照明の使用はできません。

・館内での団体集合写真の撮影はできません。

・特別展・企画展はその都度事情が異なりますので会場入口に掲示しているルールに沿ってください。

●展示室内での飲食はご遠慮ください。

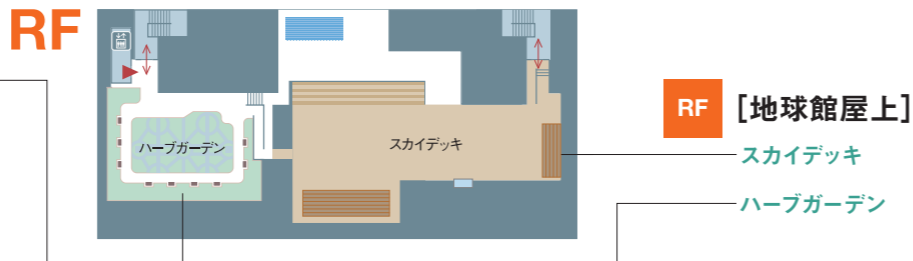
国立科学博物館(地球館・日本館) 施設MAP



大地を駆ける生命



1. 進化の頂点・野生大型獣
 - ①進化の頂点・野生大型獣
2. 動物たちが生きるための知恵
 - ②動物たちが生きるための知恵
3. サバンナの哺乳類
 - ③サバンナの哺乳類
4. われわれの隣人
 - ④われわれの隣人
5. 絶滅の淵で
 - ⑤絶滅の淵で
6. 鳥の多様な形
 - ⑥鳥の多様な形



- 男性トイレ
 - 女性トイレ
 - 車椅子用・ベビーシート付トイレ
 - 車椅子用トイレ
 - オストメイト
 - 水飲み場
 - エレベーター(高齢者・身障者車イス対応)
 - ディスカバーポケット
 - 授乳室
- *大人用介護ベッド付

2F **科学技術で地球を探る**

科学と技術の歩み

- A. 観測ステーション**
- ① 観測ステーション
- B. 地球を探るサイエンス**
- ① 地表を探る
 - ② 地球の内部を探る

1. 科学技術への誘い
 - ① 科学技術への誘い
2. 江戸時代の科学技術
 - ② 江戸時代の鉱業
 - ③ 算術の普及と発展
 - ④ 天文と測量
 - ⑤ 本草学から博物学へ
 - ⑥ 江戸時代の医学
 - ⑦ 匠たちの技
3. 近代化の始まり
 - ⑧ 基準と制度の統一
 - ⑨ 近代化に向けた人材育成
 - ⑩ 近代科学技術の普及
 - ⑪ 工作機械の導入
 - ⑫ 電力システムの導入
4. 近代化の成果
 - ⑬ 日本人の発明と創造
 - ⑭ 自動車産業のあけぼの
 - ⑮ 画像を送る新技術
5. 新たな日本の科学技術の発展
 - ⑯ 機械式計算機
 - ⑰ 電子計算機
 - ⑱ 日本の宇宙開発
6. 科学技術の過去・現在・未来
 - ⑲ 科学技術の過去・現在・未来



1F **地球史ナビゲーター**

1. 地球史ナビゲーター
 - ① すべては原子でできている
 - ② 宇宙史
 - ③ 生命史
 - ④ 人間史
 - ⑤ タイムラインステージ

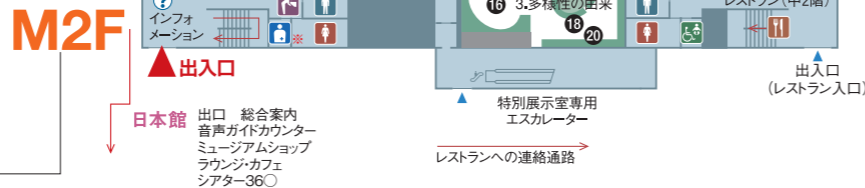
地球の多様な生き物たち

1. 海洋生物の多様性
 - ⑥ 光合成生態系
 - ⑦ 化学合成生態系
2. 陸上生物の多様性
 - ⑧ 地上のさまざまな景観
 - ⑨ 関わり合う生命
 - ⑩ マングローブ林
 - ⑪ 熱帯雨林
 - ⑫ 湿原
 - ⑬ 温帯林
 - ⑭ 高山
 - ⑮ 砂漠
3. 多様性の由来
 - ⑯ 生命とは何か
 - ⑰ 生物の種
 - ⑱ 多様化の要因 - 進化
 - ⑲ 多様化の要因 - 種分化
 - ⑳ 多様化の実例
4. 系統広場
 - ⑳ 系統広場
5. 自然を生き抜く工夫
 - ㉑ サイズへの挑戦
 - ㉒ 温度と水との闘い
 - ㉓ 栄養を求めて
 - ㉔ 受け継がれる生命
 - ㉕ 共生と寄生
6. 生物多様性の保全
 - ㉖ 私たちはどれだけ知っているか
 - ㉗ 多様性の探求
 - ㉘ レッドリスト
 - ㉙ トキをめぐる共生ネットワーク
 - ㉚ 復活する生物
 - ㉛ 生物多様性保全のネットワーク



M2F **「科学技術の偉人たち」肖像レリーフ**

1F 地球館インフォメーション前の階段、または 2F からの下りエスカレーターをご利用ください。



地球館 フロアMAP

地球環境の変動と生物の進化 —恐竜の謎を探る—



1. 恐竜の謎を探る
 - ① 竜盤類恐竜の進化
 - ② 鳥盤類恐竜の進化
 - ③ 中生代最後の日

特別展示室



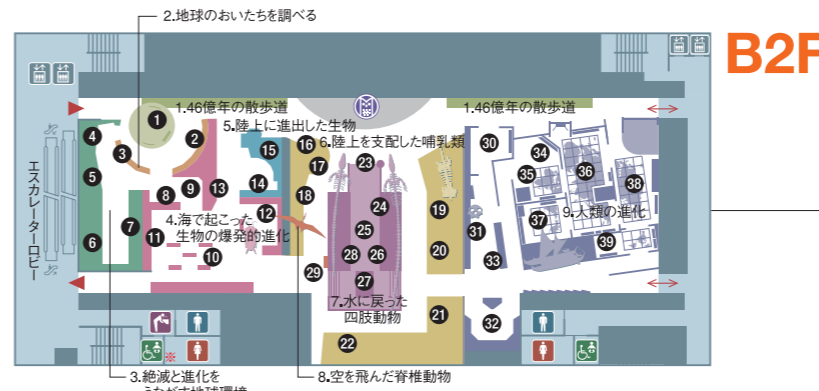
地球環境の変動と生物の進化 —誕生と絶滅の不思議—

1. 46億年の散歩道
 - ① 46億年の散歩道
 - ② 地球の営みの記録
 - ③ 化石が語る地球の歴史
2. 地球のおいたちを調べる
 - ④ 地球環境変動の記録
 - ⑤ 生物の大量絶滅
 - ⑥ 環境変動と生物の変遷
 - ⑦ 微化石
3. 絶滅と進化をうながす地球環境
 - ⑧ 先カンブリア時代の生物
 - ⑨ ベント紀の生物群
 - ⑩ バーエス頁岩とチェンジャンの奇妙な動物群
 - ⑪ 古生代の無脊椎動物
 - ⑫ 三葉虫の繁栄
 - ⑬ 魚類の発展
4. 海で起こった生物の爆発的進化
 - ⑭ 古生代の無脊椎動物
 - ⑮ 三葉虫の繁栄
 - ⑯ 魚類の発展
5. 陸上に進出した生物
 - ⑰ 森林の形成
 - ⑱ 中生代の哺乳類
 - ⑲ 森林にすむ哺乳類
 - ⑳ 草原～乾燥地にすむ哺乳類
 - ㉑ 鳥大陸の哺乳類
 - ㉒ 重量型の哺乳類
 - ㉓ 肉食性の哺乳類
6. 陸上を支配した哺乳類
 - ㉔ 水生哺乳類のフォアランナー
 - ㉕ 水の中の収斂適応
 - ㉖ 新たな食の开拓者
 - ㉗ 巨大な海生爬虫類
 - ㉘ 海を泳いだ鳥類
7. 水に戻った四肢動物
 - ㉙ 水生哺乳類のフォアランナー
 - ㉚ 水の中の収斂適応
 - ㉛ 新たな食の开拓者
 - ㉜ 巨大な海生爬虫類
 - ㉝ 海を泳いだ鳥類
8. 空を飛んだ脊椎動物
 - ㉞ 空を飛んだ脊椎動物
9. 人類の進化
 - ㉟ 霊長類の進化
 - ㊱ 猿人の進化
 - ㊲ 原人・旧人の進化
 - ㊳ 森林にすむ哺乳類
 - ㊴ 新人の進化と世界拡散
 - ㊵ 新人の拡散 再びアフリカから
 - ㊶ 新人の拡散 ユーラシアへ
 - ㊷ 新人の拡散 オセアニアへ
 - ㊸ 新人の拡散 北部ユーラシアへ
 - ㊹ 新人の拡散 アメリカへ



自然のしくみを探る

0. 日本の科学者
 - ① 自然科学系ノーベル賞受賞者 - 科学者の個性と創造性
 - ② 日本の科学を築いた人たち - 科博の所蔵資料を中心として
1. 法則を探る
 - ① 素粒子の世界を探る - KEKB 加速器と Belle 測定器
 - ② はかる
 - ③ 電気と磁気をはかる
 - ④ 温度をはかる
 - ⑤ 熱放射とエネルギー
 - ⑥ 光の速さ
 - ⑦ 重力
2. 宇宙を探る
 - ⑧ 宇宙を見る眼
 - ⑨ 天体を見よう
 - ⑩ 宇宙の階層構造
 - ⑪ 太陽系
 - ⑫ 恒星・星雲・星団
 - ⑬ 銀河と銀河団
 - ⑭ 超銀河団と宇宙の大規模構造
 - ⑮ 宇宙膨張とその起源
3. 物質を探る
 - ⑯ 物質の階層構造
 - ⑰ 周期表 - 元素の多様性
 - ⑱ 分子のかたち - 物質の多様性
 - ⑲ ナノの世界を探る
 - ⑳ 物質の究極の成り立ちを探る
 - ㉑ マクロの性質とミクロの性質
 - ㉒ 機能性物質
 - ㉓ 環境にやさしい化学をめざして



日本館 フロアMAP

2F 北翼 日本人と自然

- 日本人の旅**
 - ①歴史を旅する日本人
- 日本列島における人類史のはじまり**
後期旧石器時代の祖先たち
- 巧みに生きる縄文人**
列島に行き渡る採集狩猟文化
 - ②骨を読む
—縄文人はどんな人たちだったか—
 - ③縄文のくらし
- 大陸から来た弥生人**
新たに展開する水田稲作文化
 - ④骨を読む
—弥生人はどんな人たちだったか—
 - ⑤弥生のくらし
- 現代日本人の形成**
 - ⑥地域集団の変遷
 - ⑦琉球人・本土人・アイヌ
- 骨からわかる祖先たちの暮らしと健康**
 - ⑧骨は語る
 - ⑨ほんの少し前の祖先
- 人と社会を取り巻く生き物**
 - ⑩日本人が開発してきた自然
 - ⑪持ち込まれた生き物たち
 - ⑫追われる生き物たち
 - ⑬日本人が育んだ生き物たち
- 日本人と自然のいとなみ**
 - ⑭多様なイネ
 - ⑮稲作に伴う環境の変遷
 - ⑯イネと技術の発展



1F 中央ホール

ネオルネサンス様式の日本館の中央部分は吹き抜けのホールとなっています。展示を見た後は、白壁のドームとやわらかい光が差し込むステンドグラスの美をお楽しみください。

B1F

- ①フーコーの振り子
- ②シアター 360

B1F



3F 北翼 日本列島の生い立ち

- フタバズスキリュウ**
- 日本列島の骨組み**
 - ①日本列島に残る大陸の記憶
 - ②付加体を構成する岩石
 - 日本列島誕生前**
 - ③日本最古の化石
 - ④サンゴが栄えた海
 - ⑤腕足動物のパラダイス
 - ⑥古生代の森

- ⑦世界最古級の魚竜
ウタツサウルス
- ⑧化石で地層の時代を知る
- ⑨中生代の森
- ⑩ウミユリの園
- ⑪日本で初めて発見された恐竜
- ⑫コンボウガキの礁
- ⑬アンモナイトの海
- ⑭植物化石?それとも生痕化石?

- 3. 日本海の誕生と日本列島の成立**
 - ⑮石炭をつくった森
 - ⑯日本海誕生の直前
 - ⑰日本海の誕生とビカリアの海
- 4. 氷期と間氷期**
 - ⑱メタセコイアの林
 - ⑲日本にゾウがいた頃
- 5. トピックス展示**
 - ⑳化石化学合成群集
 - ㉑深海生物の化石

2F

- ⑥骨からわかる祖先たちの暮らしと健康
- ⑦人と社会を取り巻く生き物
- ⑧日本人と自然のいとなみ
- ①日本人の旅
- ②日本列島誕生前
- ③巧みに生きる縄文人
- ④大陸から来た弥生人
- ⑤現代日本人の形成
- ⑨ほんの少し前の祖先
- ⑩日本人が開発してきた自然
- ⑪持ち込まれた生き物たち
- ⑫追われる生き物たち
- ⑬日本人が育んだ生き物たち
- ⑭多様なイネ
- ⑮稲作に伴う環境の変遷
- ⑯イネと技術の発展

1F 南翼 自然をみる技

- 1. 天を知る**
—天球儀・天文—
 - ①日本の暦の移り変わり
 - ②江戸時代の天球儀・地球儀
 - ③望遠鏡で何を見てきたか
- 2. 地を知る**
—地震計—
 - ④地の動きを知る試み
 - ⑤地震計の発達
 - ⑥変わり続ける地震計
- 3. 時を知る**
—時計—
 - ⑦不定時法と和時計
 - ⑧現代の時計産業へ
- 4. 微小を知る**
—顕微鏡—
 - ⑨好奇心から生まれる科学の眼
 - ⑩極微の世界への挑戦

3F 南翼 日本列島の素顔

- 1. 南北に長い日本列島の自然**
 - ①日本列島の季節と自然
 - ②亜熱帯
 - ③暖温帯
 - ④冷温帯
 - ⑤亜寒帯
 - ⑥日本を代表するコケ、地衣、キノコ、変形菌、淡水魚
- 2. 日本列島を囲む豊かな海**
 - ⑦日本列島を囲む海の特徴
 - ⑧黒潮温帯海域
 - ⑨黒潮亜熱帯海域
 - ⑩日本海
 - ⑪親潮亜寒帯海域
- 3. 変動する日本列島**
 - ⑫日本列島の地質
 - ⑬日本周辺のプレート配置ともぐりこみ
 - ⑭日本の鉱物
 - ⑮日本に落下した隕石

2F 南翼 生き物たちの日本列島

- 1. 渡来と分化の足跡**
 - ①DNAが明かす生物史
 - ②鳥が語る形の変化
 - ③熱帯・亜熱帯起源の海産動物
- 2. 植物たちの適応戦略**
 - ④地史と関係する植物
 - ⑤高山に残った氷河時代の植物たち
 - ⑥特殊な地域に分布する植物たち
- 3. 海に隔てられた動物たち**
 - ⑦脊椎動物が語る島々の歴史
 - ⑧南西諸島に固有な陸貝たち
 - ⑨昆虫の種分化のメカニズム
 - ⑩ブラキストン線と鳥たち
 - ⑪小笠原諸島の生き物
- 4. 気候に合わせる**
 - ⑫北で大きく、南で小さく
 - ⑬雪を味方に生きる

